

平成27年度地域国際化ステップアップセミナー（京都地域）

『地域を担う人材の教育・育成と循環』 ～多様なセクターとの連携・協働～

■基調講演

静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科
教授 池上 重弘 氏

静岡文化芸術大学文化政策学部教授。

専門は文化人類学、多文化共生論。

日本社会の多文化・多民族化に伴う地域の課題を実証的に研究。主著に『ブラジル人と国際化する地域社会－居住・教育・医療－』（編著、明石書店）。主な社会的活動としては、浜松市外国人子ども支援協議会会長、磐田市多文化共生社会推進協議会会長等。



■日 時：平成27年11月18日（水） 13:00～17:00

■会 場：キャンパスプラザ京都 2階ホール

〒600-8216 京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

電話:075-353-9111

アクセス:京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

■対 象:40名(先着順。定員になり次第終了)

自治体職員・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、その他関心のある方(企業、学生、および一般市民)

■参加費:無料

■申込方法:①～⑤を記載の上、下記メールアドレスあてにお申し込みください。

<①件名【11/18京都セミナー参加申込】 ②お名前(ふりがな) ③ご所属 ④ご連絡先(TEL、E-mail)
⑤懇親会の参加の有無>

■お問い合わせ:市民国際プラザ 担当:大蔵

E-mail: international_cooperation@plaza-clair.jp 電 話:03-5213-1734

市民国際プラザHPはこちらから検索お願いします！

市民国際プラザ

検索



■主 催:(一財)自治体国際化協会(市民国際プラザ)

■後 援:【一部申請中】京都府、京都市、(公財)京都府国際センター、(公財)京都市国際交流協会、(特活)国際協力NGOセンター

■企画・運営協力 (公財)京都YWCA

■開催趣旨

日本に暮らす外国人住民の数は210万人を超え、「外国にルーツをもつ子どもたち」の教育は、地域で対応を迫られている課題である。

昨今では、教育支援を受けた子どもたちが地域を支える人材として育ち、地域の一員として活躍されており、「支えられる側から支える側へ」プラスの連鎖も期待される。

また、少子高齢化や労働力人口の減少など様々な問題に直面している日本社会において、地域の一員として共に暮らす外国人住民の活躍に目を向けることは、「地方創生」の一助となると考えられる。

本年度の地域国際化ステップアップセミナーは、地域を担う人材の教育・育成と循環について学び、多文化共生社会の形成を考える機会とする。同時に、多様なセクターとの連携・協働の必要性についても考える。

■登壇者プロフィール

可児ミッション 総主事代行 山田 拓路 氏

1985年生まれ、保育士・日本語教師。
2008年よりフィリピン人学校「国際子ども学校」（愛知県尾張旭市）に就職、幼児から中学生までの日本語や体育等の授業を担当。2012年より「可児ミッション」（岐阜県可児市）に異動、不就園のフィリピン人幼児を対象とした保育所を開設。また、2014年より岐阜県岐阜市でも不就園幼児の保育を開始。併せて、外国にルーツをもつ不就学の小中学生の就学支援事業を開始、現在に至る。



浜松市 企画調整部 国際課 主任 古橋 広樹 氏

浜松市には約2万1千人の外国人市民が居住している。南米日系人が多く、特にブラジル人は約9千人と日本最多。リーマンショックを境に減少傾向にある一方で、定住化の進展やアジアからの外国人が増加している。

このようななか、外国人市民への支援や課題解決とともに、その多様性をまちづくりにつなげるための取組を進めている。

社会福祉法人さぼうと21 学習支援室コーディネーター 矢崎 理恵 氏

国際基督教大学で日本語教育を専攻。1982年、大学卒業と同時に青年海外協力隊に参加。フィリピン・マニラ市の外務研修所で日本語を教え始める。帰国後、就学生や留学生への日本語教育に長く携わる。現在は社会福祉法人さぼうと21の学習支援室コーディネーターとして、難民等日本に定住する「生活者としての外国人」の日本語教育に関わる。日本語教師としてのモットーは「オープン&シェア」



関西学院大学総合政策学部4年生 テュアン シャン カイ 氏（ミャンマー出身）

1993年東京生まれ。ミャンマー・チン民族出身の両親のもと、東京で生まれ育つ。都立大崎高等学校卒業後、関西学院大学総合政策学部入学。現在大学4年生。2013年に、食を通じて難民支援を目指す「Meal for Refugees(M4R)」を立ち上げ、代表を務める。社会福祉法人さぼうと21の学習支援室に小学校5年生から高校卒業まで通う。高校在学中は同団体の就学支援を受給していた。

公益財団法人京都YWCA 岡 佑里子 氏

2007年より公益財団法人京都YWCAに勤務。多言語による電話相談・支援活動グループAPT（Asian People Together）を担当。電話による情報提供や、地域の専門機関と協力しながら、問題解決の支援を行う。また地域社会や学校などで異なる価値観を持った人を受け入れる社会となるために共に育つ「多文化共育プログラム」を提供する。2014年からはにほんご教室「洛楽」も担当。12カ国からの約30名が学ぶ。



■プログラム

第1部 13:00-15:30		
13:00-13:15	開会 (挨拶・資料説明、施設確認ほか)	公益財団法人京都YWCA 一般財団法人自治体国際化協会
13:15-13:55	基調講演 地域を担う第二世代の教育・育成と循環 —自治体が外国につながる子どもたちの教育・人材育成に 取り組む意義—	静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 教授 池上重弘 氏
13:55-14:00	質疑・応答	
14:00-14:05	休憩	
14:05-14:25	事例発表1 外国人コミュニティに寄り添う教育支援	可児ミッション 総主事代行 山田 拓路 氏
14:25-14:45	事例発表2 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業の取組み	浜松市 企画調整部 国際課 主任 古橋 広樹 氏
14:45-15:10	事例発表3 地域で育った外国にルーツを持つ子どもたちの活躍 『支援される側』から『支援する側』へ	社会福祉法人さぼうと21 学習支援室コーディネーター 矢崎 理恵 氏 関西学院大学総合政策学部4年生(ミャンマー出身) テュアン シャン カイ 氏
15:10-15:20	質疑・応答	
15:20-15:30	休憩	
第2部 15:30-17:00		
15:30-16:30	グループディスカッション	公益財団法人京都YWCA 岡 佑里子 氏
16:30-16:45	総括	静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 教授 池上重弘 氏
16:45-17:00	閉会	

※セミナー終了後、希望者のみ別会場にて懇親会を予定しています。(会費実費。3500円程度)